



NO.400

R2年11月1日

-発行-

〒869-1217

熊本県菊池郡

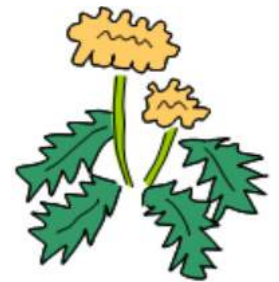
大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



【開園記念祭】



理事長 松田 健

三気の里の開園記念祭では、例年千名を超える方々に来ていただいています。地域に根差した施設作りをしている中で、特に重要な行事として位置付けています。「初めて施設に来ました。」「想像と違いました。」「また、来ます。」といった嬉しい言葉を地域の方から直接聞ける場もあります。

新人職員の中には、小さい頃「開園記念祭に来ていました。福祉の道に進もうと思ったきっかけになりました。」と言ってくれた人もいました。地域への恩返しを少しでもしていきたいと思っただけのイベントです。わずかでも貢献できて嬉しく思

います。

熊本地震のあと、自粛モードが蔓延していました。だからこそ、地域のために開園記念祭は実施しました。地域の方にも喜んでいただきました。しかし、コロナにはどうしても勝てませんでした。やむなく、従来の形での開催を断念しました。利用者の方とスタッフだけの開園記念祭を11月14日に実施しました。

三気の里は、今年度で満33周年となりました。「たんぽぽのさと」なので、33は特別な数字だと私は思っています。そんな特別な年度の特別な開園記念祭なので忘れることはないと思います。利用者さんとスタッフだけの開園記念祭もとてもよかったです。来年は、また従来の形で開園記念祭が実現できるように進めていきます。コロナが退散していただくことを切に願っています。





11月



1班：「毎週の楽しみ！」

毎日、各班たくさんの作業を頑張っています。利用者の方が毎日頑張るのも、毎週木曜日に来て頂いているローソンの移動販売が理由の一つでもあります。

前日になると楽しみにされ、「〇〇を買う」「〇〇を飲む」と話されています。Sさんはアイスクリームやソフトクリームが好きで、帰宅されたときにはよく食べられています。ローソンの移動販売でも冷凍庫の所に行き、ソフトクリームを選び、籠に入れられます。毎回違う種類を選ばれ、美味しそうに食べられています。いつも大きく口を開けられ、美味しそうに食べられるSさん。その姿を見てホッとする木曜日です！他の方もスナック菓子を選ぶ人、チョコレートを選ぶ人と様々です。店員さんも優しく接して下さい、会計が済むまで温かく見守って下さるので、利用者の方も安心して買い物が出ています。

これから寒くなって、インフルエンザなどが流行してくる時期となります。コロナウイルス、インフルエンザなどに負けないように、皆で頑張っていきましょう。

支援員 山本 晴香

2班：「常に貪欲さを忘れずに！！」

先月より利用者さんのお給料が+500円とアップしました。2班では主にフルーツネット作業と、岩下株式会社さんより頂いているベビー用品(ガーゼハンカチ、アフガン等)の作業に取り組んでいます。ネット作業においては皆さん長年の経験で熟練されており、恥ずかしながら作業のスピードにチェックする私達スタッフが追い付いていくのに必死です。以前は1週間でやっと納品出来る位でしたが今では1週間待たずとも納品のスパンが短くなってきています。また同時進行でハンカチ作業も行っており、こちらも本年度より受注が去年の倍程になり、月の全体収入も約5000円と上がりました。作業量が増えた事の課題として双方の作業に携われる方を増やしていく事、いかに効率良く取り組む事が出来るのか、試行錯誤しながら日々目標を立て取り組んできました。ハンカチ作業ではそれぞれの強みを生かせるようフック付け、袋入れ、テープ剥がしと一人でも多くの方が携われるように一連の流れ作りから始めました。今ではネット作業が終わると自ら移動してハンカチ作業に取り組まれる方もおられ、その貪欲な姿に私達も刺激をもらうばかりです。現状に満足せず、日々工夫を凝らし一緒にやりがい共有出来たらと思います。

支援員 下城 悠香

3班：「半年経って」

今年の3月に熊本学園大学の社会福祉学科を卒業し、4月に三気の里に入社しました。入社して間もない時は、まず利用者さんの顔と名前を覚えることから始まり、3班ではどんな活動をしているのか、利用者さんがどれだけ作業できるのかを聞くことや、自分が作業の流れや工程を覚えることで精一杯でした。新型コロナウイルスによる自粛生活での制限が多く、利用者さんとの買い物やレクリエーションなどが実施出来なかったことが残念でした。

担当のUさん、Fさんとは一緒に野菜の袋詰め作業を行ったり、散歩やドライブに行ったりすることで、作業している時の真剣に取り組まれている表情や、散歩を楽しまれている表情などを見ることができてやりがいを感じました。半年経ちましたがより利用者さんの特性や障がいについてしっかりと勉強し理解し、そして今の自粛生活の中でも充実した生活を送ってもらえるような支援をしていきたいと思っています。

支援員 菅原 恵太

4班：「変化に対応しながら、変化を最小限に」

平均年齢58歳となった4班利用者さん10名。自閉症の診断を受けているのは、うち2名の方です。皆さん管理された食事を摂取し、週に5日は30分ほどの歩行運動とストレッチを行っています。お腹まわりが立派になって貫禄のようなものが見えてきました。お腹周りの変化がさほどない方は、唯一の40代の方と、毎日120回の踵の上げ下ろしをされている方です。歳を重ねてきて、トイレや食事、作業棟への移動以外はゆったりと腰を下ろして過ごされる毎日で、以前のように細やかに色々なことで機敏に、かつ頻繁に動いてまわることは無くなってきたようです。食欲はあり、毎日おいしく食事を摂取できていることは健康である印。栄養が口から摂取でき、味わうことを楽しめるといのは、非常に重要なことだけに、いかにして効果的に運動をし、機能、筋力を維持しながら食べていけるかが大きな課題となっています。テレビを見ながらまたは、歌いながらの足踏み。歩行時の歩幅を今より大きく、かつ高く上げて歩く。作業の合間に体をねじる動作を定期的に取り入れる。方法はあるので、後はみんなて継続して利用者の方に意識し取り入れてもらいます 主任支援員 石丸 直美

5班：「笑顔」

今年度になり5班に入ってこられたTさんは人との関わりがとても好きな方で、利用される日には積極的にスタッフと沢山話をされコミュニケーションを取られます。作業中、スタッフと話したそうにされていましたが、「作業を頑張りましょう！」と励ましの言葉を伝えると集中され、取り組み始めてくれました。ふっとこちらを見ると「ほら見て」「作業する方がカッコいい」と言われ、頑張られている姿を見せてくれました。

「作業している姿はみんなカッコイイですね」「すごいですね」と伝えると素敵な笑顔で取り組まれていました。日々の生活の中、皆さんが頑張られている姿を見て私も元気をもらえています。まだまだコロナの状況によって利用者の方やご家族の皆さんに協力してもらっている状況もありますが、少しでも多く皆さんの笑顔が見られるように支援していきたいと
支援員 石原 佳奈

人材確保委員会：「採用と定着」

人手不足は、どの業態、どの業種でも課題となっていることだと思います。福祉はより深刻で、3K（きつい、汚い、給料安い）と言われることもあって、学生からの人気は少ないです。そのために、リクナビなどの就職検索サイトを利用したり、採用に関する研修会に参加したり、いくつかの法人与自然で就職フェアを開催したりなど、あの手この手で、人とお金を使って人材確保のために取り組みを行っています。そうしなければ、人を確保することが難しいのが現状です。しかし、何より大事なことは、今いる職員の定着であり、離職率を下げるのが人手不足を解消する上で最も重要となります。一言で言えば、人が辞めない企業は、良い企業であり、人も集まることとなります。採用と定着は繋がっており、その両方を考えることが求められます。

熊本では、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業を「ブライツ企業」として認定する取り組みがあります。三気の里も認定されるために、採用と定着について今後も考え、実践していければと思います。

業務課長 松本慎太郎



運動会

「運動会」

支援員 下城 悠香

新型コロナウイルスの影響で世間では様々なイベントが中止になっていきますが、新しい形式で行えないか等といくつか案が出た中、例年に近い形で開催出来るよう今年規模を縮小して利用者さん、スタッフのみで運動会を開催しました。

プログラムも30m走、玉入れ、パン取り競争と例年より種目は少なかったのですが、1位を目指して走られる姿や、狙いを定めて慎重に力ゴに向かって玉を入られる方もおられ、限られた種目だったからこそ各種目に対して皆さん本気で臨まれました。

パン取り競争では5種類の中から1つを選ぶという事で竿に下がっているパンを目の前に悩まれる方や、スタート時点で決めていたパンの元ハダッシュで走られる方もおられ、まさに好きなパンを目指しての“競争”になっていました。

パン取りの後にはフィナーレとしてスタッフアトラクションの時間でした。今年のスタッフ

アトラクションは先輩チームによる生歌付きダンシング・ヒーローに合わせたのダンスに對抗し、後輩チームはダンス、綱引きで対抗しました。綱引きでは1回戦の惨敗さに泣きの2回戦を挑みましたが倍返しは叶わず、出直して来年に持ち越し?となりました。

来年はまた例年のようにご家族の方と共に、皆で楽しめるようコロナウイルスも落ち着き開催できることを願っています。



看護師便り

「健康への投資」

看護師 小崎 栄之

“投資”という言葉から皆さんは何を連想されますか？投資にはリスクが伴いますが、私がお勧めしたいのは、皆さんにお勧めしたいのはリスクの伴わない『健康への投資』です。私の考える『健康への投資』とは、「禁煙する」「節酒する」「肥満を改善する」「野菜中心のバランスの取れた食事にする」「運動を習慣にする」など毎日の生活の中で、出来る事をコツコツと継続して行うことです。

さらに、健康診断を毎年受診して、病気が発症する前に生活習慣の改善を行ったり、病気が



見つかったときの早期治療も『健康への投資』になると思えます。

今現在の健康な体をこまめにケアし、病気を予防する事により、「健康寿命」が延び、医療費や介護費の出費を抑えることが出来ます。『健康への投資』はリスクを伴わず投資すればするだけ、充実した人生を送ることが出来るのです。“投資”は、「自分の体に目をむけることといえるでしょう。」

「健康寿命」とは、人の助けを借りずに起床、衣類の着脱、食事、入浴など普段の生活の動作ができ、健康的な日常を送ることが出来る期間のことをいいます。「健康」を維持するためには、定期的に自分の状態を知っておくことが大切です。『健康への投資』を増やすことで、「医療費の負担」を減らすことが出来ます。また、健康診断での保健指導を「受けた人」と「受けなかった人」の医療費では「受けなかった人」の医療費に後々大きな負担が掛かっているというデータがあります。定期的な検診や適切な保健指導は「健康寿命」をのばし、健やかで豊かな老後を過ごすことにつながります。皆さんも『健康への投資』を実施してみませんか？

療育雑記

『言葉の力』

療育課長 岩田 幸児

日本には昔から「言霊（ことだま）」という考え方がありません。文字通り、言葉に宿っている不思議な霊威や霊性のことをいうので、相手に対し、言葉を投げかけるのは、意思や内容を伝える為だけのものではなく、同時に自分の魂をも送り届ける作用であり、それは発した瞬間に、自分自身をも縛るものになることを意味しているといわれています。

「Aさんは、元気にしてますか?」「Aさんは大丈夫ですか?」利用者の方から、私に掛けられた言葉です。利用者のAさんが入院された際に、担当支援員である私に利用者の方々が、声を掛けてくださいました。表現の仕方は様々です。「Aさん、きついな。長いね。」と伝えられる方もいらっしやいます。表現は違えど、それぞれにAさんの

ことを心配する「気持ち」（言霊という「魂」）の入った言葉だと思えます。Aさんが退院してこられると「お帰りなさい」と笑顔で迎えられ、Aさんも笑顔で応えられていました。

また、先日私自身が首を痛めてしまうことがありました。そんなとき、数名の利用者の方から、「どうしたのですか?」「首は大丈夫ですか?」「岩田さん、首、痛い」と声を掛けて下さいました。「すいません。心配してもらってありがとうございます。嬉しそうですね。翌日も、「もう首は大丈夫ですか?」と。それから数日は同じように、心配の言葉を掛けて下さいました。私の体調も戻った頃、「もう大丈夫ですよ。いつも心配して貰って有り難うございます。」と伝えると、これまで以上の笑顔で「よかったですね!」と利用者の方の優しい気持ちに嬉しさで感謝の気持ちで一杯になりました。（歳のせいでしょうか少しウルツとなっていました。）

三気の里では、毎朝朝礼で人權擁護心掛けに関する唱和を行い、その中で「感謝の気持ちを持って働きます」と唱っています。感謝の気持ちを持って働くことは、当たり前のことだと思えますが、仕事に入る前に言葉にして改めて確認し、利用者の方皆さん、一緒に働く職員等、周りの人に感謝する施設の空気感、施設風土作りはとても大切なことだと思っています。日々の仕事、生活の中で、私たちは周りの方々にどれだけ感謝の言葉を掛けることが出来ているのでしょうか。

私たちの行動や心情は、発する言葉、受ける言葉に大きな影響を受けているのではないかと思います。ポジティブな言葉を使えば活動的になり、人を称賛する言葉を使えば思いやりのある行動に、明るい言葉を使えば明るい気持ちで行動出来る。受ける側も褒められると笑顔になり、明るい気持ちになります。逆に、ネガティブな言葉を使えば消極的になり、人を非難する言葉を使えば否定的な行動が生まれます。受ける側も暗い、悲しい気持ちになるでしょう。

自分の発する言葉は、投げかける相手に、意思や内容を伝えるだけではなく、自分の「気持ち」も届けることになることを考え、意味や言葉が相手に対してどのような影響を及ぼすのか、一つ一つの言葉の重みを感じながら、日々感謝の気持ちを持って生活できる人でありたいと思います。



11月スケジュール

三気の里
 ☆ 11月06日(金) 訪問理容サービス
 ☆ 11月09日(月) 訪問理容サービス
 ☆ 11月10日(火) 岡田Dr.来診
 ☆ 11月13日(金) 訪問理容サービス
 ☆ 11月14日(土) 開園記念祭
 ☆ 11月18日(水) 2班レクリエーション
 ☆ 11月19日(木) 誕生会
 ☆ 11月21日(土) 陣内食堂

11月27日(金) 訪問理容サービス
 11月28日(土) 5班レクリエーション
 毎週木曜日(5.12.19.26)
 ローソン移動販売

BeTREE
 <営業時間>8:00~18:00
 詳しくはインスタで



betree314

イベント食

「お楽しみランチ」

栄養士 前田はる美

コロナ禍で、帰宅や外出制限を余儀なくされている利用者さんのストレスは相当なものです。そんな気分を吹き飛ばしてほしいという想いから、日頃より食事作りでお世話になっているEOC様のご協力で「お楽しみランチ」を実施することになりました。

これまでは、その日の気分です。2品のうち1つ選べる主菜の選択メニューを毎週金曜日に行ってきました。しかし、今回は主菜を3品から2つ選べます。更に嬉しいことに、デザートも3品から2つ選べるとあって、皆さん数日前から期待でいっぱいです。廊下に掲示されたメニューを指し、楽しみを抑えきれないようです。さて、迎えた当日、いざ実物を目の前にすると、どれを2つ取ろうか皆さん悩みます。また、選ぶ品数が増えたこ

とでわからなくなる方もいらっしやいました。が、食べているその表情は嬉しそう。何よりでした。今後も、ワクワク楽しみを企画していきたいと思えます。



ありがとうございます
 ごございました

前淵 隆子様
 【ボランティア】

【寄付】

田中 満子様 清田 栄一様
 今池 隆則様 米村 秋江様
 藤井 法仁様
 三気の里家族会様
 ライスセンター井口様

【物品】

吉田 和信様 牛島 智子様
 櫻木 勇夫様 柴田 精三様
 森川 琇介様 中嶋 久枝様
 金森 保様 赤星 央子様
 田中 満子様 上野 育夫様
 水田 妙子様 岡本 則子様
 井手上昌子様 井口チズヨ様
 東坂富士代様 藤本栄之助様
 西村真由美様 坂田多鶴子様
 井上 優様 道上 進様
 岩切美佐子様

【後援会】

牛島 敏章様 中村 富子様
 中田 康則様 中村 芳久様
 米田 孝一様 白井 桂子様
 樺嶋 尚志様 田中 基幹様
 中村 稔様 亀崎 憲様
 中牟田朋宗様
 森川マサミ様